

杉戸町記者発表資料

- 平成29年11月8日（水）
- 担当課 農業振興課
- 担当者 新堀、中村
- 電話番号 0480-33-1111（内線322）

空き店舗活用で農産物直売！新規就農者が販路拡大へ

杉戸町では、農業への新規参入希望者が確実に就農できるよう支援するため、『明日の農業担い手育成杉戸塾※』を運営し、新たな担い手農家の確保・育成に取り組んでいます。

そして、『明日の農業担い手育成杉戸塾』を卒業した新規就農者は、独自の農業経営を確立しようと日々野菜作りに励むとともに、道の駅アグリパークゆめすぎと直売所や地元スーパー等での販売のほか、昨年度より、イベント等での軽トラ市を開催するなど、新たな販路拡大に取り組んでいます。

そこで、更なる販路拡大として、町内中心商店街の空き店舗を活用した、朝採れ野菜の直売を下記のとおり行います。また、これにより、近年の空き店舗の目立つ商店街のにぎわいづくりを目指します。

☆「明日の農業担い手育成杉戸塾」とは？

農業経営を目指す新規参入希望者が確実に就農できるよう支援するために、平成22年10月に設置。杉戸町内に在住し、研修終了後町内において農業経営を行うことなどを入塾の条件とし、原則2年間の実践研修を実施する。 ※卒業生（町内就農者）：6名（平成29年10月末現在）

記

■新規就農者のための販路拡大（空き店舗活用）事業概要

- 1、内容 空き店舗を活用した野菜の直売
- 2、場所 旧「鮮魚川市」空き店舗※（所在：北葛飾郡杉戸町杉戸3丁目1-6）
- 3、日時 11月11日（土）、25日（土）、12月16日（土）※以降、継続的に開催予定
各日10時～16時予定（雨天時、中止の場合あり）
 11月19日（日）「杉戸宿場まつり」にて
※新規就農者の栽培の様子などの現場写真、紹介パネルを店内に展示します。
- 4、参加者 若手農業者（卒業生） 栗田 勉、馬場伸和、篠宮雄治、市川晴一、巻島健志
 地域農業者

☆旧「鮮魚川市」空き店舗について

若手農業者の栗田氏による中心商店街の空き店舗情報をもとに、店主様のご好意で貸していただけることになった。

■これまでの販路拡大の取組

- 1、開始経緯 平成28年度より、消費者との交流を深め、真心こめて栽培した自慢の野菜をPRするため、委託販売や市場出荷では実現できない顔の見える直売を開始！
- 2、実施内容 軽トラ市
平成28年10月 杉戸宿場まつり会場
平成29年1月 杉戸町新春マラソン大会会場、杉戸町役場駐車場
7月 杉戸町役場駐車場
 空き店舗活用による直売
平成29年7月 杉戸夏まつりに併せ試験的に実施
9・10月 杉戸夏まつり時の好評を受け、週末に試験的实施（3回）
11月以降 継続的に実施予定

■空き店舗による直売で期待される効果

- 若手農業者
 - ・新たな販売先、及びビジネスチャンスの獲得に繋がる。
 - ・顔・名前・農産物を直接PRでき、お客様との信頼関係が構築できる。
 - ・直接、消費者ニーズを把握でき、今後の農業経営に活かせる。
 - ・地産地消をアピールすることで、販促効果が期待できる。
 - ・中間流通を省くことにより所得向上に繋がる。
 - ・市場流通等とは異なり、自ら価格を決められる。
- お客様
 - ・新鮮・安全な農産物を購入できる。
 - ・生産者の顔が見え、直接話ができる。
 - ・スーパー等の小売店には置いていない、生産者こだわりの農産物が購入できる。
 - ・車を運転できない高齢者など交通弱者や買い物難民の不便さが解消される。
 - ・生産者やお客様同士の交流により、心豊かな生活に繋がる。
- 商店街
 - ・空き店舗対策になり、商店街のにぎわいづくりに繋がる。
 - ・地域住民の触れ合いや世代間交流の場に繋がる。
 - ・集客アップにより、他店への波及効果が期待できる。

【参考画像】

(1) 軽トラ市 (新春マラソン大会会場にて)



(2) 軽トラ市 (役場駐車場にて)



(3) 空き店舗直売 (7月、杉戸夏まつり会場にて)



(4) 空き店舗を活用した直売の様子 (10月)

